

預金

預金は安定的に推移

預金の期末残高は、前年同期比26億円増加して1兆3,511億円となりました。部門別では、預金全体の約7割を占める個人預金はほぼ前年並みで推移しましたが、法人預金は36億円減少し、公金預金等は65億円増加しました。

預金の推移

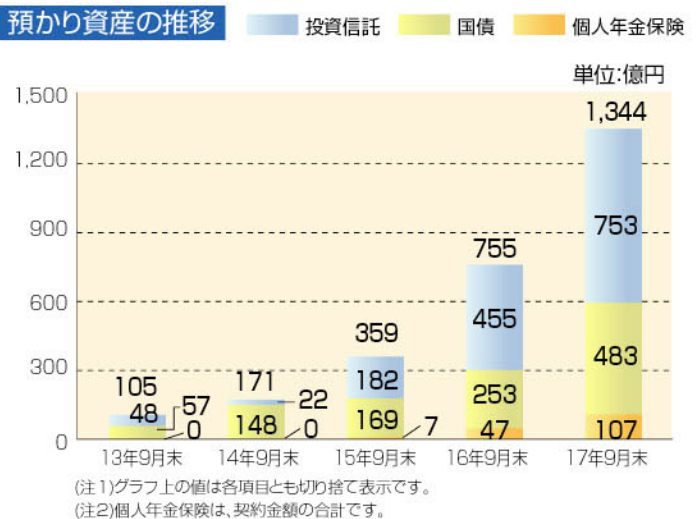


預かり資産

商品提案力の向上などにより大幅増加

預かり資産(投資信託、国債、個人年金保険)の期末残高は、お客様のニーズに合った資産運用の提案に努めたことから、投資信託や個人向け国債の販売が順調で、前年同期比589億円増加の1,344億円となりました。

預かり資産の推移



コア業務純益

貸出金利回りの低下などから減少

コア業務純益(注)は、預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での収益力を表す指標で、一般企業の営業利益に相当する概念です。今期のコア業務純益は、預かり資産の販売増加などにより役務収益は増加しましたが、貸出金利回りの低下などから預貸金収支が減少し、前年同期を12億円下回る59億円となりました。

コア業務純益の推移

